

ドキュメンタリー映画

僕のうしろに道はできる

～奇跡が奇跡でなくなる日に向かって～
愛はいのちを立ち上がらせる
絶望から生まれる希望のシンフォニー



復興応援

映画上映会

私たちは、つながって大きないのちとして明日へ向かって歩いている。

4/27(日) 10時～ 大船渡リアスホール 【入場無料】

10時～11時半 ドキュメンタリー映画上映会 『僕のうしろに道はできる』

11時半～12時半 「山元加津子」講演会

＜開場 9時30分＞
大船渡リアスホール

【映画のご紹介】

ある日突然、脳幹出血で倒れた宮田俊也さん。万が一つにも意識は戻らないし、一生、体のどこも動かないと思われた。しかし、意識はあった。ただ、体が麻痺して伝えられなかっただけだった。

再び、気持ちを伝えられるようになり、常識を超えた回復をするまでの、山元加津子さんとの二人三脚の日々。そしてそのことを知った人達が、生きる喜びを取り戻していく。

広がる輪、つながっていく心。
一緒に歩く仲間たちがいた。
生きるってどういうこと？
幸せってなんだろう？
いのちと向き合うって？

苦しみは苦しみで終わらない。
自分の、そして誰かの明日を輝かせる。
絶望から生まれる希望のシンフォニー。

(※文部科学省特定選定作品)



【山元加津子さんご紹介】

山元加津子さんの愛称はかっちゃん。
1957年金沢市生まれ。
石川県明和養護学校教諭。
障害を持った子どもたちと教師と生徒という関係ではなくかけがえのない一人の友達としてふれあい続けている。
分け隔てなく、ありのままに受け入れる姿勢は、子どもたちの個性や長所を素晴らしく引き出している。そんな子どもたちの素敵さを多くの人に知ってもらおうと教師をしながら国内外での講演・著作活動など多方面に活躍中。教師、主婦、作家、母親という4役を自然体でこなし、まわりの人に優しく慈しみをもって接する姿は多くの人に感動を呼んでいる。